

アイスダンス

減点に関する責任者

減点

	内容	罰則	責任者
1	演技時間違反 — 超過または不足した 5 秒ごとに	-1.0 点の減点	レフェリー
2	5 秒を超えた演技の中断(SD および FD のみ)	6~15 秒 16~30 秒 -1.0 点 -2.0 点	レフェリー
3	許された時間を超えたリフト — 6 秒または 12 秒(リフトのタイプで決まる)を超えたリフトごとに	-1.0 点の減点	レフェリー
4	衣装/小道具違反 — 規程第 612 条および ISU コミュニケーション第 1610 号および第 1632 号による - 衣装/小道具違反 - 衣装のいかなる部分もリフトの支持に用いてはならない。もし用いた場合、カップルは小道具を使ったものとされ、これは第 612 条で禁止されているので、レフェリーとジャッジが衣装違反の 1.0 点の減点を行う。テクニカル・パネルはリフトのコールの仕様にしたがってレベルを認定し、衣装による減点は行わない。	-1.0 点の減点	レフェリーがジャッジパネルと共に衣装/小道具違反を決定する。全ジャッジとレフェリーを含むパネルの多数意見に従ってこの減点を適用する。意見が 50:50 に割れた際は減点されない。ジャッジとレフェリーはスクリーン上のボタンを押すことでこの減点を適用する。
5	衣装/小道具違反 — 規程第 612 条および ISU コミュニケーション第 1610 号による - 衣装の一部/飾りが氷上に落ちた場合 "衣装の飾りは取り外してはならない"。もし衣装の飾りや衣装の一部、もしくは花、ヘッドバンド、リボンなどの髪飾り(これらも衣装の一部である)が滑走中に氷上に落ちた場合、レフェリーが衣装の違反として 1.0 の減点を行う。	-1.0 点の減点	レフェリー
6	違反要素/動作 — 規程第 609 条および第 610 条 3 項による ● リフト中の動作および/または姿勢 - リフトするパートナーのリフトする手はその頭上より高い - パートナーの頭に横になったり座ったりする - パートナーの肩や背中に座ったり立ったりする - 完全に腕(片腕/両腕)を伸ばした状態でブレード/スケート靴または脚のみを持って、および/または両パートナーの腕が完全に伸びきった状態で手をつないで、リフトするパートナーがリフトされたパートナーを振り回す - リフトされたパートナーが倒立開脚姿勢をとる(両大腿部のなす角が 45 度を超える) (第 609 条および第 610 条 3 項の注釈も参照せよ) ● 1 回転を超えるジャンプ(またはスロウ・ジャンプ)または両パートナーが同時に行う 1 回転のジャンプ ● 氷上に横たわる	-2.0 点の減点	TS が特定し、TC が認定あるいは訂正し、減点を行う。 どの要素においてもその実行中に違反動作があった場合、違反動作の減点が適用されかつその要素はレベル1とされる。ただしレベル1の要件を最低限満たしていない場合はノーレベルとコールされる。 ただし、TC による違反動作に関する訂正要求に両 TS が賛同しない場合は TS と ATS による当初の決定が維持される。
7	音楽: 音楽の制限に対する違反(FD) — 規程第 610 条による	-2.0 点の減点	レフェリーがジャッジパネルと共に音楽の制限に対する違反を決定する。全ジャッジとレフェリーを含むパネルの多数意見に従ってこの減点を適用する。意見が 50:50 に割れた際は減点されない。ジャッジとレフェリーはスクリーン上のボタンを押すことでこの減点を適用する。
8	余分な要素 — 余分な要素を行うごとに ショート・ダンスの要件に従っていない要素、またはフリー・ダンスのウェルバランスに従っていない要素	-1.0 の減点 要素には*がつく (無価値)	コンピュータが要素の削除と減点を行う。 TC は要素の削除と減点を認定あるいは訂正する。
9	プログラム中の転倒(PD, OD, FD) 注:氷上に両膝をつくことや両膝をついて滑ることおよび/または氷上に座ることは転倒と見なされ、テクニカル・パネルはしかるべき減点を適用する。 パターン・ダンス(ショート・ダンスの必須要素としての滑走ではない場合):助走部または最終部のステップ/動作で転倒した場合、テクニカル・パネルのみがしかるべき減点を行う。ダンスのセクション内で転倒した場合、テクニカル・パネルとジャッジがしかるべき減点を行う。中断によりセクションが 3/4 よりも多く失われた場合テクニカル・パネルは「セクション、ノー・レベル」とコールする。 パターン・ダンス(ショート・ダンスの必須要素として滑走する場合):ダンスのシーケンス/セクション内で転倒した場合、テクニカル・パネルがしかるべき減点を行う。中断により、シーケンスまたはセクションが 2 分の 1 よりも多く失われた場合、およびまたは"キーポイントが"1 つも正しく行われていなかった場合、テクニカル・パネルは「セクション、ノー・レベル」とコールする。 転倒とは、"スケーターがコントロールを失い、その結果、体重の過半が身体のブレード以外の部分、例えば片手または両手、片膝または両膝、背、片尻または両尻、腕の一部、によって氷上に支えられた状態"と定義されている。	パートナーの一方の転倒ごとに 両パートナーの転倒ごとに -1.0 点の減点 -2.0 点の減点	TS が特定し、TC が認定あるいは訂正し、減点を行う。 ただし、TC による転倒に関する訂正要求に両 TS が賛同しない場合は TS と ATS による当初の決定が維持される。